デジタル活用度をセルフチェックできる



ご紹介資料

2021年7月 合同会社デジトレ



デジタル化の現在地を客観的に把握する

業種や規模の大小問わず、もれなくすべての中小ビジネスが経営のデジタル化 (DX:デジタルトランスフォーメーション)に真正面から向き合う時代になりました。

「できることなら、自社にピッタリなシステムを導入して、上手に使いこなしたい。」 「現場にあったデジタル活用で、顧客満足度と従業員満足度を高めて競争力を向上させたい。」

そんな中小ビジネスにオススメする のがデジトレ診断。

自社のデジタル活用の現状を俯瞰でき、デジタルをどこまで活かせているのか、強いところ、足りないところが一目でわかります。





中小ビジネスのデジタル活用のために

製造業・商業・サービス業・農業など多様な業種の中小ビジネスのデジタル活用にお役立てください。

デジタル化を はじめたい、 デジタル経営を 知りたい

もっと効果的に デジタル活用に 取り組みたい デジタル経営に 対応できる人材を 育てたい

















診断はスマホで簡単・手軽に

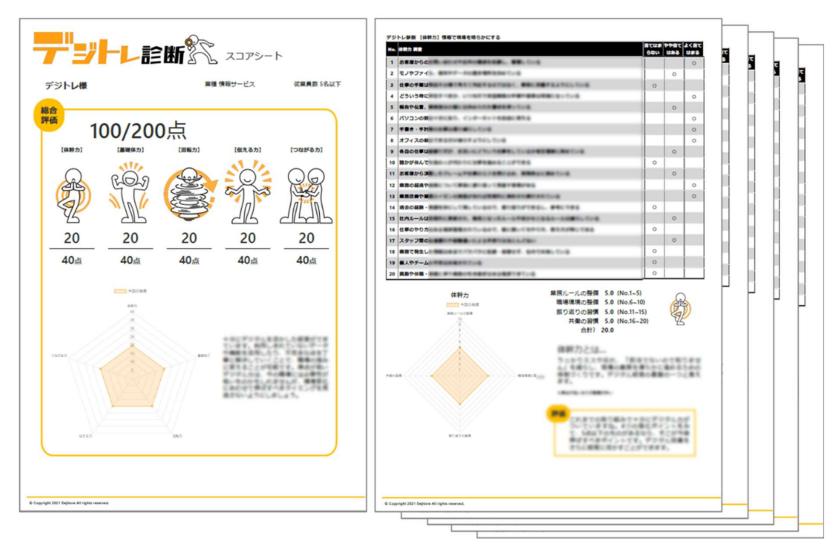


スマホ、タブレット、パソコンからご利用できます。





自社のデジタル活用度が数字でわかる



診断結果はその場でレポートに出力

プリントアウト、または、出力先を選んでPDFに出力できます。



リアルケースから抽出 デジタルの活かし方

100以上のIT活用事例

IT経営マガジンCOMPASS IT導入補助金 中小企業白書 農業IT事例集 コンサル現場



デジタルをどのように 経営に活かそうとしたか 自社の魅力を 伝達する

【伝える力】



社外との関係を 拡げ、深める

【つながる力】



情報で事業の 回転数を高める

【回転力】



情報の使い勝手を良くする

【基礎体力】



情報で現場を滑らかにする

【体幹力】





自社の魅力を伝達する

伝える力



ありたい姿

デジタルをどのように 経営に活かそうとしたか

デジタルの活用

- 新規顧客の開拓
- 既存顧客との取引維持、 深掘り
- ファンの育成
- 職場にあう人材の募集

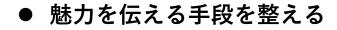


自社の魅力を 伝達しよう



- Webサイト
- · SNS発信
- 動画サイト
- 地図サイト
- クチコミサイト
- カタログ・チラシ
- ・ 標準営業資料
- 社内向け資料
- マニュアルの改善
- 顧客アンケート
- 販売実績の可視化
- 社史まとめ





- 魅力を伝える素材をつくる
- 魅力そのものを磨く
- 社外の声を聞く



社外との関係を拡げ、深める

つながる力



ありたい姿

デジタルをどのように 経営に活かそうとしたか

デジタルの活用

- **24**時間**365**日の注文や 問い合わせの受付
- リモート営業や商談
- 顧客や取引先との業務の効率化、連携強化



社外との 関係を拡げ 深めよう



- ECサイト
- ネット予約
- Web問い合わせ
- クラウド発注
- EDI電子データ交換
- オンライン商談
- オンライン見学
- お客様専用の情報発信、 データ共有
- SNS双方向
- 情報セキュリティ対策
- 事業リスク対策



- お客様に便利を提供する
- パートナー共に競争力を高める
- リスクに備える
- 変化に挑戦する



情報で事業の回転数を高める

回転力



ありたい姿

デジタルをどのように 経営に活かそうとしたか

デジタルの活用

- 生産性向上
- 業務時間の短縮
- 残業時間削減
- 業務改善
- ムラムリムダの削減





情報で 事業の回転数 を高めよう



- 省力化・自動化・管理水準Up
- データを活かせる環境整備
- 事業にデータを役立てる
- 知恵と情報を集める

- 業務管理システム
- ・ ドローン
- センサー
- 遠隔制御
- 自動化・ロボット
- データの記録・蓄積
- データ分析システム



情報の使い勝手を良くする

基礎体力



ありたい姿

デジタルをどのように 経営に活かそうとしたか

デジタルの活用

- 現場でもシステムや データを利用できるようにする
- 外出先からもシステム やデータを利用できる ようにする
- いつでも正確なデータをすぐに利用できるようにする





情報の 使い勝手を 良くしよう



- 情報にアクセスしやすくする
- 情報を一元的に管理する
- データの呼称や粒度をそろえる
- データを守る

- スマートフォン
- タブレット端末
- 無線LAN
- リモートアクセス
- モバイルアプリ
- バーコード/ICタグ
- クラウドアプリ
- マスタデータ
- 外部記憶媒体



情報で現場を滑らかにする

体幹力



ありたい姿

デジタルをどのように 経営に活かそうとしたか

デジタルの活用

- 業務に必要な情報を 探す時間の削減
- 無駄な待ち時間の削減
- 現場の迷いや戸惑いの 削減
- 現場への放任の削減
- 手戻りやミスの削減





情報で 現場を滑らか にしよう



- 業務に必要な情報をそろえる
- 現場の情報通信環境を整える
- 振り返りを習慣化する
- 互いの業務を知りあう

- ファイル共有
- グループウェア
- チャットツール
- 掲示板システム
- ナビゲーションシステム
- 業務マニュアル
- 職場のFAQ
- ルールや手順の見直し
- PCやスマホ、無線LANや モバイル通信環境の整備
- 社内報等の交流の仕組み



デジタルの導入とその使いこなしを採点

デジタルの 活かし方

導入

活用

自社の魅力を 発信する 魅力伝達機能 の整備 魅力形成機能の整備

外の声を聞く 習慣

育成の 習慣

社外との関係を 拡げ、深める 顧客利便性 の整備 パートナー連携 の整備

チャレンジ習慣

コントロール の習慣

情報で会社の 回転数を高める 管理水準を 高める整備 データ活用環境 の整備

知恵を 集める習慣 成長に 活かす習慣

情報の使い勝手を 良くする 情報アクセス の整備 一元管理環境 の整備 データ保全 の習慣

そろえる 習慣

情報で現場を 滑らかにする 業務ルール の整備

職場環境の整備

共働の習慣

振返りの習慣



設問例

自社の魅力を 発信する

- 経営理念に基づき、自社の魅力を最も的確に表現するメッセージを定め、徹底している
- お客様や取引先にアンケート調査を定期的に実施している

社外との関係を 拡げ、深める

- オンラインでのデータの授受や取引で発生する帳票の電子化を進めている
- 社外との連携を前提に、社内の価値観や優先順位、ルールや制度を少しずつすり合わせている

情報で会社の 回転数を高める

- 業務の省力化とスピードアップのためのシステムを整備している
- デジタルツールを活用してみたい、という現場からの提案を大切にしている

情報の使い勝手を 良くする

- 社内・社外の場所を問わず、どこからでも、いつでも必要な情報にアクセスできる
- 会社の情報は決められた場所に格納され、一元管理されている

情報で現場を 滑らかにする

- お客様からのお問い合わせや応対の履歴を記録し、蓄積している
- 業務で発生した情報は各自でバラバラに記録・保管せず、社内で共有している



デジトレ診断Webサイトの右上から 体験版をご利用いただけます。



活かし方

そろそろデジタル活用 に取り組みたい方

デジタル活用の全体像がわかります。どこから手を付けるかの判断材料に。

いままでの デジタル活用を 振り返りたい方

出来ていること、足りないことがわかります。 次に取り組むテーマを選ぶ基準に。

デジタル化と言っても 何をすべきか わからない方

設問を通じてデジタル化のイメージがつかめます。 出来ることからはじめるきっかけに。



支援現場で活用するメリット

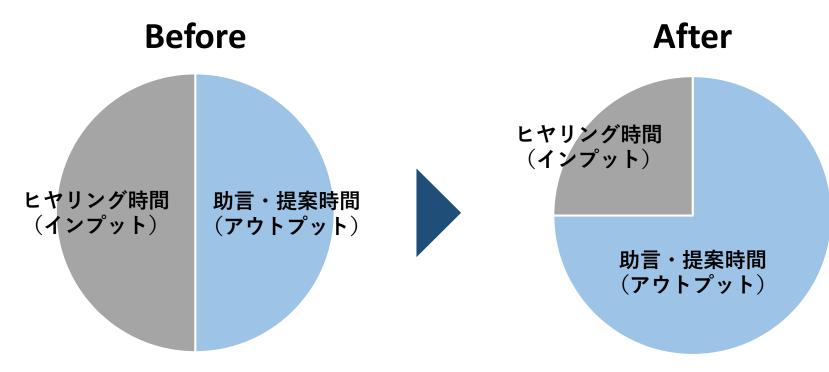
100の設問をヒヤリングすれば、 自然とお客様の課題が浮かび上がります。

ヒヤリングをしながら助言や提案ができるので、 支援の時間を効果的に使えます。

お客様と一緒に課題を見つけていけるので、 押し付けにならない納得感のある支援を行えます。



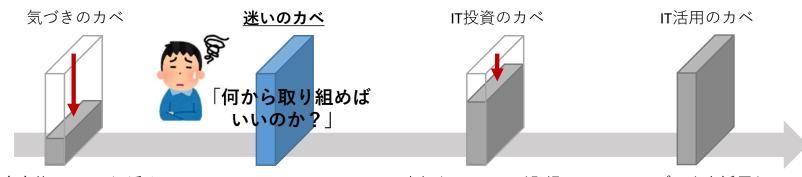
効率的なインプットでアウトプットを増やす



ヒヤリングは必要不可欠ですが 時間がかかりすぎていませんか お客様にいただいた時間は 最大限アウトプットに 費やしたいですよね



中小ビジネスのデジタル化を阻むもの



デジタル経営による 事業の成長

社会全体へのITの浸透や デジタル化推進政策等に より気づきのカベは低下

ここがボ<mark>ト</mark>ルネック になって進まない 安価なITツールが登場し、 補助施策も充実したが、 自社にあうITツールを 探し選ぶことが難しい IT・データを活用して 事業強化・事業革新に つなげる取り組みまで 手が回っていない

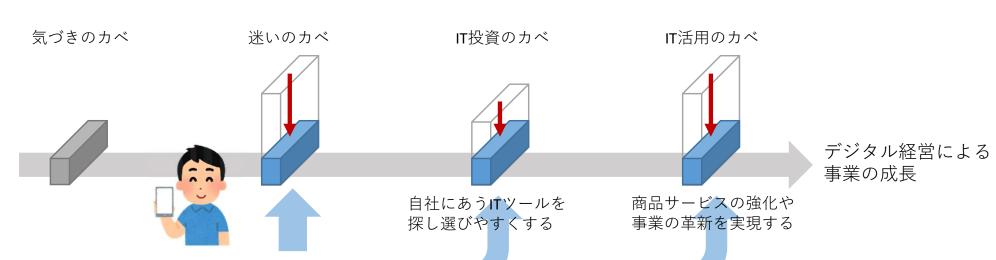
"IT・デジタルをどう使って経営を伸ばすか" デジタル経営の全体像が見えない、わからない。

- 大企業勤務などでIT活用経験がある経営者だけが自力で越えている 多くの中小ビジネスは自力では越えられず、目にとまったツールを 導入するか、支援機関や専門家に相談することが常態化
 - →目の前の課題解決にとどまってしまう
 - →IT投資に至る前に時間がかかってしまう





診断ツールで流れを整える





①診断ツールで迷いを減らす デジタル経営の全体像 をつかむ



②診断結果に応じて 自社に最適な ITツールを 選びやすくする ③事業成長に直結する
IT・データの活用支援に
専門家がより注力できる
ようにする





支援現場での活用方法1

訪問・オンラインでの コンサルティングで



窓口相談で



中小ビジネスの個別支援や個別相談の現場で 利用できます。

- ・ 複数ある課題のうち、何から取り組むかの優先 順位を整理する
- ・課題の見落としや、相談者が気づいていなかっ た課題を浮かび上がらせる
- デジタル活用を進めていくにあたり、社内メンバーの認識あわせをする



支援現場での活用方法 2

セミナー・研修会で



中小ビジネス対象のデジタル活用に関する セミナーや研修会で利用できます。

- ・デジタル化についてのトレンドや事例紹介をした後に、参加者全員にデジトレ診断を実施してもらう(所要時間15分~20分)
- ・研修会であれば、診断結果を踏まえたアドバイスを行う(所要時間30分~60分(人数次第))



- デジトレ診断のURLを短縮URLに変換
- 有効期限を設定し、URLとQRコードを セミナー資料として配布
- パスワードはセミナー当日に口頭で伝達



実績

- A県 農政課
 - 普及指導員によるスマート農業指導研修に採用
- B県 社会福祉協議会
 - オンラインセミナーで約90人がデジトレ診断で自己点検
- 中小企業向け研修会
 - デジトレ診断を活用してデジタル活用戦略立案を支援
- 中小企業の個別支援
 - デジトレ診断を活用してデジタル活用戦略立案を支援



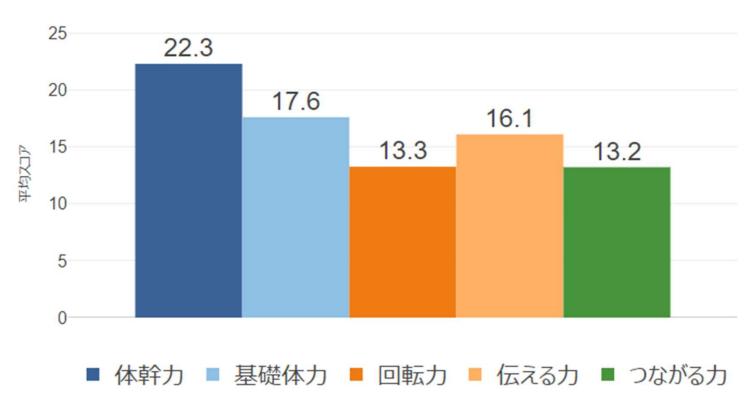
デジトレ診断結果の平均スコア

• デジトレ診断のデータを使って定期的に分析を行っています。以下は、104社実施いただいた時点での平均スコアです。デジトレ診断を利用している方に、業種別や規模別の診断データの分析結果など、継続的に情報提供を行います。

総合 評価

82.5/200点

5つの力別の平均スコア





主なFAQ

▼ デジトレ診断の結果をどのように活かせばいいですか?

100の設問の中から「これを伸ばしたい」というものを**1**つか**2**つ見つけ、まずはそれに取り組みましょう。

経営環境が変われば取り組むべき課題・優先順位も変わります。その時に最も必要なテーマを選抜するためにお役立てください。

▼ デジトレ診断の100の設問すべてに回答する時間がありません

全部で100の設問が用意はされていますが、一部のみの回答も可能です。5つのデジタル力のうち関心のあるところに絞って(例えば、伝える力の20問のみ)回答してみましょう。20問の中から「これを伸ばしたい」が見つかるはずです。

▼「デジトレ」とはどういう意味ですか? -

「デジタル経営の自主トレーニング」を略して「デジトレ」としています

